

府省名	法務省	部署名	関東地方更生保護委員会事務局総務課
-----	-----	-----	-------------------

取組のポイント

新人職員の時代からワークライフバランスや働き方改革に関する意識を醸成するため、新人研修のうち約12時間を割いて、「働き方改革」をテーマとした課題討議を行った。この課題討議の中で新人職員から提案された企画の一部(勤務庁に職員家族が訪れる「ファミリーデー」における子供向け企画の開催や「Goodヴェンタイム(昼食をとりながらの交流)」の開催)を、研修終了後に実際に職場で実践し、新人職員の目線をいかした職場環境の改善に取り組んだ。

取組概要

【取組の背景】

新規採用された若い世代にも喫緊の課題として働き方改革に取り組んでほしいと考え、50名の新人職員が参加する保護局関係職員初等科研修において、全83.5時間中、最も多い11.75時間を割り、「働き方改革」をテーマとした課題討議を実施。

【取組の内容】

研修課題① 自分の勤務庁に職員家族が訪れる「ファミリーデー」の企画

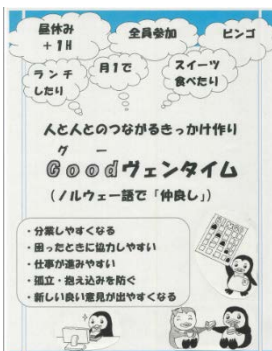
研修員からは、保護司等の関係団体職員にも参加してもらうなど画期的な企画が発表された。また、本年度開催した「ファミリーデー」において、発表された企画を実際に取り入れ、業務説明の一環で絵本の読み聞かせを行った。

研修課題② 働き方改革を進めるための新しい施策の検討

研修員自身が働き方改革の担当者であると想定し、新規施策を検討。月1回、昼休みにみんなで昼食をとることで、孤立・抱え込みを防ぎ、職員の相互理解や職員同士が協力し合える職場作りを目的とした、「Goodヴェンタイム」(ノルウェー語で「仲良し」を意味する「グーヴェン」と「good」な弁当タイムから名付けられた。)が考案された。研修終了後、「Goodヴェンタイム」を実施し計16名で昼食をとりながらゲームで交流するなど、職場環境の改善向上に取り組んだ。

【取組の成果】

研修員アンケートでは、「定時退庁できるように就業時間中に一層集中するようになった」、「期限や重要度を勘案して業務に優先順位をつけて行動するようになった」、「業務の効率が良くなり、定時後の余暇や休息時間の増加につながった」、「職場でコミュニケーションを積極的にとれるようになった」等の意見が挙げられた。



【Goodヴェンタイム】

令和元年度保護局関係職員初等科研修 「課題討議」実施要領

- 1 目的
現代社会や更生保護が抱える課題について、研修員同士で話し合い、検討した結果について、発表することで更生保護官等職員として必要な知識、技能及び意識の向上をめざす。
- 2 討議テーマ

(1) 働き方改革について	2班(各1班)
① 「新しい施策」を考えよう	
② 「ファミリーデー」を企画しよう	
(2) これからのリクルート活動について	2班
(3) これからの更生保護に必要な施設について	2班
(4) 10年後の更生保護について	2班

【「課題討議」実施要領】

講評

新人職員の段階から働き方改革を考えさせることは、長時間労働の組織文化に染まらず、慣性の法則に陥らない対策として重要。本取組により醸成されたワークライフバランスの意識を定着させるため、組織としての継続的な支援を期待する。